

動に、機会を活用したことがあるでしょうか？われわれはこれまでに、国際理解の増進に貢献したことがあるでしょうか？学生交換やロータリー財団の分野には、国際奉仕の機会が多々あるのです。われわれの年度も余すところ僅かに3カ月となりましたが、皆さんと共に、もう一度見直して行動に移されるよう、ここに改めてお願いする次第であります。

ロイ・D・ヒックマンR.I. 会長

市川 芳夫会長 要請事項

- 1、来る6月2・3日（於）札幌経済センター第351地区、「地区協議会」が開催されますが、出席義務者は絶対に欠席無き様準備下さい。
- 2、御案内の様に次期各委員会長は、活動計画書作成中と存じますが、期日がせまっております。4月中に提出出来る様努力して下さい。

★お知らせ！

- 1、10周年記念親睦ゴルフ大会 日＝場所決定す
10月14日（第2日曜日）於＝北海道カントリークラブ大沼コース
- 1、函館（五）R.C.～4月27日の例会は都合により28日の18時からに変更
場所＝ビジター料従来通り
- 1、亀田R.C. 4月30日の例会は、29日（天皇誕生日）祝日とかさなりますが、くり下
げ休会となります。
- 1、紋別港R.C.～5月27日12時（於・市民会館）登録料¥4,000
- 1、えりもR.C.～5月27日12時（於・福祉センター）登録料¥6,000

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
47. 9.20 4.11	52名	37 48名	15名		
47. 6.15 4.18	52名	41 41名	11名	13名	94.23% ^{48%}
在函クラブ	(4/5) 函館R.C. 98.29%	(4/6) 函館五稜郭R.C. 100%	(4/3) 函館東R.C. 97.78%		

★第444回例会欠席者

岩塚・成田・杉本・下郡山・佐々木・沢村・布目・山内(文)・平山・外山・野地
(11名敬称略)

次回例会日 5月2日

プログラム「平山 官次郎会員のお話」

(ヨ シ イ)

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所

函館市大手町5-10

日魯ビル3階

☎.(0138) 23-3870



例会場 函館市大手町5-10

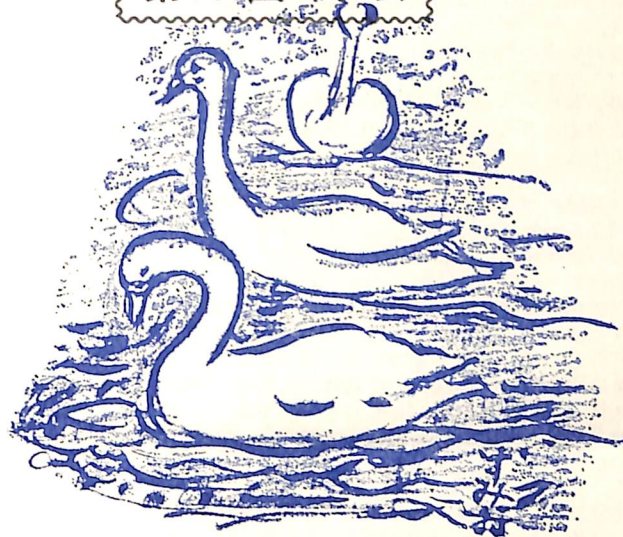
国際ホテル TEL (0138) 23-8751

例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1972. 9. 27

1972~1973 第13号

第446回例会



俣野純夫会員

Let's take a new look もう一度見直そう (Roy D. Hickman R.I. 会長指針)

本日のプログラム

卓話「平山 官次郎会員の話」

第445回例会記録

◎司会 駒井 幸一副会長

◎斉唱 我等の生業

◎ビジター

魚津富山R.C. 追分 孝典君
豊橋R.C. 佐藤 元彦君
函館R.C. 外山 健吉君 他4名
函館東R.C. 森岡 勝君 他2名
函館(五)R.C. 福岡 一成君 他2名

◎幹事報告 (吉井副幹事)

- 1、22日札幌に於いて現幹事、次期幹事の勉強会が御座居ました。森幹事についていきまして、朝10:30より夕方の4:30までびっちり勉強してまいりました。参考にな

った事は幹事という物は会員に邪魔にならないようにさりどて良いアドバイザーであれという事でありまして、加えて会長の為の幹事でなく全会員の為の幹事たれという事が主眼でありまして、それに伴って基礎的な事、規約の一部改正等でありまして、大きな面で講義がありました。当クラブの担当アドバイザーは札幌西R.C.の小熊会員でありまして非常にロータリーの知識の豊富な方でありまして色々な事について勉強してまいりました。その勉強の成果を発揮するようにさらに現幹事に御指導頂いて頑張りたいと思います。

- 2、30日は政令の改正によりまして振替休日となりますので各クラブの例会は休会となります。
- 3、次期委員会の委員長さんは、次年度の活動計画書を4月中旬に提出されますようお願いいたします。
- 4、本日の会報にミスプリントが御座居ますので御訂正下さい。
出席報告のところで、S 47. 9. 20を48. 4. 18、又47. 9. 13を48. 4. 11と訂正して下さい。

◎卓 話「最近のプレハブ住宅と木材の市況」 大江 利和会員

只今御紹介を戴きました大江会員で御座居ます。私の生れは当市で、この4月より放送されておりますNHKのホームドラマ「北の家族」で使われている言葉通りのズーズーでございます。

その上職業柄、労務者を相手におしゃべりをする事があっても、本日の様にハイクラスの方々を前にスピーチなど一度もしたことがございませんので、お聞き苦しい点が数々あると存じます。興奮と緊張のあまり、生来の心臓病が発作をおこすかも知れませんので、その節は会員の名医の方に適切な処置を御願い申し上げておきます。

扱て、スピーチの題目をもっともらしい「プレハブ住宅と木材の現況」とつけましたが、当会員の中にも建築並に木材を生業としておられる大先輩が居りますので、これから申し上げることに誤りが多々あると存じますが、後程御叱責、御指導を頂戴したいと存じます。

最近住宅建築の様式が大分昔と変わって参りました。それは、皆様御存知の通り、プレハブ住宅が建築される事が非常に多くなりました。そこで、先づこれからのプレハブ住宅について述べてみたいと存じます。何か御参考の一端になれば幸いです。

現在の住宅様式は大別して二つに分かれると感じます。一つは在来工法と申しまして、これは昔よりあります工法で、建築資材を現場に調達して大工が工事場で切込み造作をなして、一つの形を製造することで、注文者の要望を先づ取り入れてやる事が可能な住宅建築で御座います。もう一つは、目下花形産業中でも特に脚光を浴びて居るプレハブ工法住宅でございます。プレハブ法とは、プレハブ・リケーションと云って、あらかじめ作っておいたものを現場に搬入し建てる工法を云って居ります。つまりプレハブ住宅は工場で作られた住宅の大部分、即ち基礎を除いた殆ど全部材及び製品、玄関セット、浴室、その他住宅機器に至るまで何種類かを作っておいて、注文に応じて建築現場に運び家に組み立てるといふことです。

元来日本の住宅は木造建築が主流を占めて、いままで発展して来ましたが、これは昔より日本の国土に合った建物と云うことだったと存じます。世界で木造住宅が主流を占めて居る国は日本とアメリカだけです。これは少し横道にそれますが、昨年秋より今迄かつて見られなかった木材の高騰という事にも大いに関係があるのですが、これは又後程申し上げたいと存じます。ここでプレハブ住宅の出現となり、いちじるしい進展となるわけですが、建築家の間で第2次世界大戦の直後にこの問題と取組んだことがあったのです。その時は先づ合理的な建築により、材料の節約を計ることでした。しかし元の資材の調達が十分出来なかった上、採算が合わなかったことで多々の研究が挫折してしまいました。こうしたプレハブ住宅のはりしは在来工法を改良するということから殆どが木造だったのです。その後は住宅不足が深刻化して参りまして、プレハブ住宅が台頭することなく、住宅建築というものは大工さんの手によって現場で木材を加工して行なうものであるとされてきました。皆様も御存知の通り、終戦後のベニヤ板は植物性の糊

で代表的な大豆の糊で単板を接着したもので、見苦しい天井板であったことを御記憶のことと存じます。それが、戦後10年を過ぎた昭和30年代になってからその様に現在の合板は石油化学の進歩により、接着剤も良質になり、外壁にも使用される迄になったことや、軽量鉄骨が生産される様になったことなどが主な要因となって、工場で作るという生産システムが再度各方面で研究される様になりました。

昭和34年度には勉強部屋式の小型のプレハブ住宅が市販されることになりました。こうなりますと日本の企業は先を争ってプレハブ住宅に関心をもち技術の開発や販売へと急速な進歩をみせ、時は流れて参りました。プレハブ協会の発表によりますと、協会の昭和46年度のプレハブ住宅の販売実績は、販売戸数135,856戸とその売上げ金額1,229億円で、販売の系統別では鉄骨系が全体の44%の1,229億円、コンクリート系が全体の36%の1,027億円、木質系が全体の20%の551億円となっており、驚くべき数になって参りました。然し、これは全国の統計でありまして、地域別に分けると関東地方、近畿地方、中部地方で全体の83%の実績を示し、プレハブ住宅はまだ大都市中心に普及している住宅と云うことが出来るかと存じます。

又、只今申し上げましたコンクリート系と申しますのは中高層の鉄筋コンクリートのプレハブ住宅で、工場にて壁及床等のコンクリートの塊を作り、現場に運搬してグレーンで積上げて4・5階のアパートを作って居る工法で、この建築は殆ど公共資金の建築であります。昭和46年度の在来工法の建築とプレハブ工法の建築との対比は未だに在来工法の建築%プレハブ工法が20%と圧倒的に在来工法の方が優位を占めております。

最近、当市にもプレハブ工法のメーカーが4・5社進出して活動をはじめており、ここ2・3年後には50%対50%と云う様な販売をしたいと申して居りました。住宅建築の将来と展望とは申しますと、日本の大家族的な建築様式から核分裂して核単位の住宅が建つということ、及び所得の上昇にちなみ今迄、車・クーラー・カラーテレビの3C時代から耐久消費財的なこれらに住宅が仲間入りした感があります。

これが更に進み「人生3回転居説」の登場となります。つまり新婚当時は狭い乍らも楽しい我が家と小さな家で家庭を営み、子供が大きく家族が多くなった時に2回目の転居で5部屋位の大きな家に住み、子供の成長と人生の一番の活動期をここで過ごすことになり、やがて子供達が一人前に成長すると最近の風潮で親から離れて独立して行ってしまう。こうなること今迄住んでいた住宅は大きすぎず、無用の長物になってしまいます。そこで、もう一回転居して小さな機能的な家に住もうかと云うこととなります。

以上を「人生3回転居説」と云って居ります。これともう一つ住宅ローンの普及という大きなことも見逃せないかと存じます。昔の人は、他人からお金を借りて迄物を欲しがる人は少なかったと思います。時代と共にローンの普及が活発になり、所得が10万円位以上の人でしたら、銀行でお金を貸してくれます。これも国の社会福祉という大きな方針に助けられ、益々拡大して行くことを考えますと、以上申し上げた時代の流れから住宅建築の需要は当分下ることではないと存じます。以上申し上げたことに依り、プレハブ住宅は益々増えて行くことと思います。では、当市での住宅建築の様子に、触れてみたいと存じます。

建築戸数は昨年秋より驚異的な建築資材の値上り、中でも木材・建材・セメントなど皆様、新聞・テレビ等で御存知の通りでございますが、然しこれにも拘らず函館・亀田両市の建築確認申請は、今迄の最高と申して居ります。これは需要が相当あり、且又、建築費が現在より多少の変動はあっても大きく下ることがないやう見通しから、早く建てた方が得策だという考えからと思います。では、当地方でのプレハブ住宅と在来工法との関係について考えて見ましょう。現在先づ、数では問題なく在来工法が多いのですが、プレハブ住宅は今後増え続け、あと4・5年先には半々位になると存じます。

扱て価格の面ですが、在来工法とプレハブ工法が同等と云う前提条件を立てることは土台無理なことですが、仕上が同等ということと考えてみますと、昨年度は坪単位で20%位在来工法の方が安い価格でした。本年度は10%位在来工法が安いと思います。ここにお出の方々は坪単価が25万円以上の立派なお住居にいらっしゃると存じますが、高度な要求をされたり建築後間仕切の変更等の模様替が構造上困難なプレハブ住宅より在来工法で趣味を生かした望み通りの家建てられた方が良策でないかと存じます。こんなこ

とを申してプレハブ住宅のメーカーにお叱りを受けるかも知れませんが、少ない経験からですが、私の感じたものを述べたまでです。工期の点もプレハブ工法は早く建てられると云う利点がありますが、実際は工事着工までに相当の期間を費やし、結果的にはあまり差はないと存じます。

一応プレハブ住宅のことは、これ位にして先に一寸申し上げました建築資材の高騰、特に一番値上げの激しかった木材について話してみたいと存じます。

昨年秋口に、1立方メートル当り27,000であった蝦夷松、蝦松の1、2等材が昨年末から54,000と丁度2倍になって居ります。敷居とか建具を作る材料に使用されている1等小節材は1立方メートル当り43,000であったものが100,000と約2倍半の値上がりになって居ります。住宅1坪に要する木材で、坪当りのアップを考えてみますと約27,000上がつたことになり、誠に大巾な値上げになりました。然し考えてみますと10年前の価格と比較しますと、10年間で1立方メートル当り5,000より上っておらず、10年で約18%より値が上がって居ないことになります。つまり、今迄は他物価に比較して値上りが非常に少なかったと云えます。高いと云っても1度住宅に使えば30年以上使用出来る価値のある3寸5分の柱1本の値段が並材で2,500、上等で4,000という現在の価格もネクタイ1本の値段でありパーやキャパレーのテーブル代と思えば価格そのものは決して高くはないと思います。然し今度の値上りに際して自分達の利益追求の為ばかりに走った商社の暗躍があったことに対しては非常に残念なことと存じます。

さてこの高騰の原因は、

- 1、世界的な木材資源の問題
- 2、国際金融情勢の変化
- 3、我が国に於ける住宅需要の増加

以上3点のことがあげられると思います。関東大震災後における木材相場は3ヶ月半暴騰し、その後1ヶ月で暴落したと聞いて居ります。此の度はそれを上廻る大異変と云えるでしょう。

日本の森林資源は20億立方メートルで、このうち経済林は13億立方メートルといわれて居ります。それで使用量と申しますと約1億立方メートルで、国民1人当り約1立方メートルです。世界の1人当りの使用量は約0.5立方メートルといわれて居ります。

そこで日本国民の木材消費量は世界の水準を完全に上廻っております。わが国が他国より多く使っているということは、古来から住宅が木材をより多く使っていることと、文明国であるからにはほかなりません。使用量は1億立方メートル必要なのに、年々成長する資源は3%~3.5%と云われており400万~450万立方メートルにしかありません。この為、国内ではどうしても絶対量が不足ということになるのです。昨年秋からの木材の全国山火事相場の原因は47年の住宅需要が46年より32.6%伸びたことが最大の原因とされて居ります。これに加えて銀行ローンの超緩和と相まって、木材生産地のローカル需要が、日本列島改造の開発ブームに刺激された為の需要の伸び等が上げられます。

これらに対しては、必然的に輸入に頼ることになるのですが、ソ連材出荷相場は日を追って強くなり、米材もアメリカ国内の住宅着工量が71年の165万戸が72年には240万戸と約30%を越えました。これに加えて輸入国である日本が高く買いつけたことも一因して対日輸出制限法の動きがみられるなど、全くお先が明るくないと云えると存じます。アメリカは約100億ドルの国際収支の赤字があると云われ、アメリカの赤字の80%は日本貿易のためだとして円の切上げを強く求めており乍ら、日本に木材を輸出しないのは非常におかしい事だと思えます。

ではこれはどうしてでしょうか？

昨年秋以降の木材不足から日本商社がアメリカより輸入しようとして、アメリカの木材価格をつり上げてしまったのです。その結果日本のため、米材をどんどん持って行かなくてはアメリカ国内の相場は高騰に更に追打ちをかけられるので非常に困っているのが、アメリカ国民の偽らざる感情の様です。

ソ連材も昨年の入荷量は720万立方メートルありまして、今年の契約量は800万立方メートルでしたが、ソ連の場合これ以上輸入を増やすことは困難な状況です。世界第一の森林資源をもっているソ連ですので、日本に年商2,000万立方メートルくらい売ってもらえれば

が国の木材需給と相場が安定出来ると思います。ところがソ連は港湾施設が限度一杯であること、鉄道網はシベリヤ鉄道の1本だけで、開拓が非常に困難であり、加えて林業労務者が現在145,000人でこれ以上増えない等の原因から輸入も現在止りと云うのが本当らしいです。

ソ連材について日本が希望通りにするためには、日本とソ連との政府間ベースで、ソ連の極東地区開発に乗り出さなければならないという次元の高い問題になる様です。

又、南洋材、皆椽御存知のラワン材のことですが、これは資源が豊富であります。

現在日本が輸入している外材の内53%がラワン材です。ところがフィリピンは森林資源の保全と国内産業の育成という観点から5年前より丸太の輸出規制を行なって居り今後も大きな輸入増は見込めないと云うことです。又、南洋材の価格もヨーロッパ各国が高い値で現地買いつけに来たので、日本商社もこれに追従せざるを得ない状態で、これが国内価格に反映するのが当然だと思えます。

以上悲観的なことばかり申し上げて参りましたが、この辺で先行の見通しについて申し上げたいと存じます。

先づ金融事情がこれまでの超緩和より超がはづれて引締の状態に入りました。これに依って住宅需用も前年比5%増に落ちるものと考えられます。

次に商社が買付けた米材もそろそろ入荷して参りますし、その上今迄あまり輸入していなかったカナダの製材品が相当量入荷の見通しがたったことなど、量的には外材が日本の市場を支配する情勢です。ソ連では日本から製材プラントが輸出されており、ソ連製品の日本向け製品も研究して居る様ですが、まだそれがいつ活用出来るか不明でございますが、近い将来には実現の運びとなることでしょう。

又、我が国でも今迄あまり利用されてなかった落葉松の利用方法の研究をして、これを使用する様にすることも必要だと思えます。

以上述べました諸条件から、今後木材の値下りはまず望み薄になろうかと存じます。私達業界では、資材の高騰、労務者不足等の他に大手業者の当市進出という種々悪条件を克服しながら、地方産業の発展の為に努力して参りますので、市内の建設工事に関して皆様方の深い御理解と絶大な御支援を賜わりたいと存じます。

これで拙い話を終らせて戴きます。皆様方には本当に貴重な時間を頂戴致しましたことを厚く御礼申し上げます。どうも有難度うございました。

●七分区分ターシテイ・ゼネラル・フォーラム開催される

日時 1973年3月18日(日)10:00~16:40

場所 長万部社会福祉センター

ホスト 長万部ロータリークラブ

リーダー 川守田完三第7分区分代理

アドバイザー 塩谷G, 富田直前G, 柿本、森松両GN

ザー

点鐘、国歌、ロータリーソングに引続き歓迎のことば、ガバナー挨拶のあと、クラブ奉仕部門のフォーラムにうつり、大脇健介氏(函館東R.C.)をリーダーに次のような点について討議が行なわれた。

- 1) 会員の身分
 - 2) クラブの理事の選挙
 - 3) 会員増強
 - 4) 親睦活動
 - 5) 会員の積極的な活動参加
 - 6) クラブテリトリーの再編成
 - 7) 新会員のテーブルスピーチ
- 次いで部門フォーラムにうつり職業奉仕部門は俣野純夫(函館北R.C.)をリーダーに、
- 1) 会員の職場に礼儀と小さな親切を
 - 2) 各自の職場にロータリーの精神をどのように徹底するか
 - 3) 職業に奉仕の理想を取り入れる具体的有効な方法
 - 4) 公害問題とロータリー

- 社会奉仕部門は国兼信一郎(函館五稜郭R.C.)をリーダーに、
- 1) 社会奉仕の計画
 - 2) 老人対策
 - 3) ニコニコボックスの効果的な募金増収の方法
 - 4) 社会奉仕の実施
 - 5) 自家用車安全標示マーク

- 国際奉仕部門フォーラムを、鷲尾英一氏（函館R.C.）をリーダーに、
 1) ロータリー奨学生の情報提供 2) 円切り上げによるRI 関係の分担金の換算方法
 3) ロータリー財団の累積剰出金に対するパーセンテージの算出基礎

以上の様な議題を会員より活発な意見交換がなされ、それぞれにつづき、ガバナー及びアドバイザーより有意義なアドバイスがなされた。

詳細については後日報告書を作成し各クラブへ参考として、お送りしたいと思っております。また、次期フォーラム開催地を七飯に決定し、今後のロータリーの発展を誓い、七飯での再開を約して会を閉じた。この度のフォーラム開催についてガバナー始め各クラブ会員の皆様のご協力について深く感謝いたします。

（長万部R.C. 幹事北村幸雄）

●リーダー報告 第7分区代理 川守田 完三（函館）

第7分区インターシティ・ゼネラル・フォーラムの開催を委嘱されましたが、長万部クラブをホストとして開催する事に決定致しましたが、申し上げて悪いと思いますが、地方クラブであり、会員数も誠に少ないのでご苦勞な事と一抹の不安を持って居りましたが、長万部クラブ辰己会長、フォーラム運営委員長石川様、副委員長長北村様を始め、会員一同が打って一丸となって設営やら運営に心魂を打込まれ、誠に立派に堂々と運営されました。大成功裡に終る事が出来ました事を先もって、長万部クラブの全会員の方に厚くお礼申し上げます。

南北 260キロにわたる広い地域にもかかわらず、又鉄道順法闘争の列車の悪条件にもかかわらず、10クラブ 186名のご参加を頂き、塩谷ガバナーを始め、富田直前ガバナー、柿本、森松両ガバナーノミニ、落合前分区代理のご出席を頂きまして、終始各問題に対し適正なるご指導とご教示を明快に賜りました事を厚くお礼申し上げます。

各クラブから選出されましたモデレーターの方々も各部門に涉り熱心に討議研究されましてロータリーは如何にあるべきか。如何にして社会に奉仕するか。あらゆる面に如何にすれば、ロータリー精神を活す事が出来るか等について、短時間のうちに、効果的な結論を見事にお纏めなられた事に対し敬意を表すると共にお礼を申し上げます。

●お知らせ!!

- 1、札幌南R.C.及び札幌北R.C. 4/30日は祝日法改正により休会
 1、函館R.C.、室蘭R.C.、滝川R.C.、札幌東R.C. 5/3日祝日休会
 1、小樽R.C. 5/4日はクラブフォーラムのため17:30（於：海陽亭）に変更

●出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
48. 4. 25	52名	35名	17名		
48. 4. 18	52名	41名	11名	7名	94.23%
在函クラブ	(4/12) 函館R.C. 93.16%	(4/13) 函館五稜郭R.C. 100%	(4/10) 函館東R.C. 97.78%		

★第445回例会欠席者

青柳、深瀬、岩塚、小村、新、下郡山、外山、高杉、小笠原、成沢、布目、北条、平山、山崎、石橋、佐々木、戸栗（17名敬称略）

次回例会日 5月9日

プログラム

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

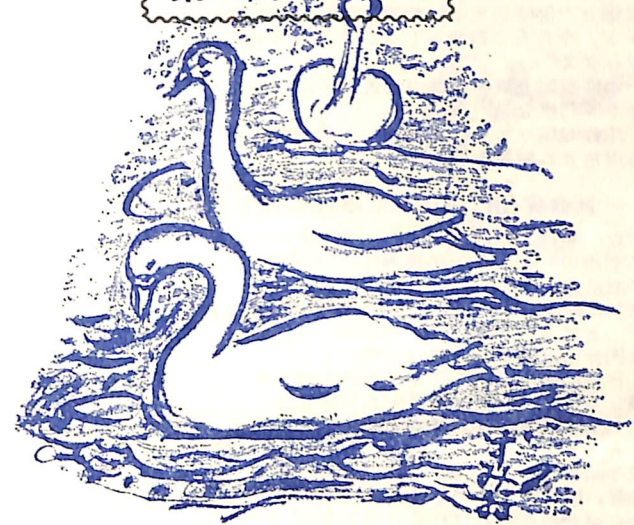
事務所 函館市大手町 5-10 例会場 函館市大手町 5-10
 日 魯 ビ ル 3 階 国際ホテル TEL (0138) 23-8751
 ☎. (0138) 23-3870 例会日 毎週水曜日 12:30-13:30



1973. 5. 9

1972~1973 第43号

第447回例会



侯野純夫会員

Let's take a new look もう一度見直そう (Roy D. Hickman R.I. 会長指針)

本日のプログラム

貞話「成田 勇司 会員のお話」

第446回例会記録

- 司 会 市川 芳夫会長 ●齊 唱 君が代・奉仕の理想
 ●ゲ ス ト 木立 哲夫氏（函館ドック・常務取締役）
 ●ビ ジ タ ー 金 木R.C. 荒関 通義君
 遠 軽R.C. 安達悦二郎君
 函 館R.C. 中村 福松君 他6名
 函 館 東R.C. 飯田 貞一君 他4名
 函館(五) R.C. 羽野 栄一君 他4名
 七 飯R.C. 池田庄三郎君

●会長報告

来る 5月13日から17日まで、スイス・ローザンヌに於きまして、ロータリー世界大会が開催されますが、第七分区からは31名の参加、当北クラブより侯野会員が参加されます。新しい情報や、いろいろなお話をいただけるものと楽しみにして居りますが、どうか